

Offirio SynergyWare

ID Print

認証プロキシ for LDAP との連携について

本書は、Offirio SynergyWare ID Print と Offirio SynergyWare 認証プロキシ for LDAP を連携して運用する場合のセットアップ、運用の仕方などを説明しています。

必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

マークの意味

!重要 使用上、必ず守っていただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows Server 2003 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Server 2003」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Windows

Microsoft, Windows, Windows Server, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Java

Copyright 2007, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

This product includes code licensed from RSA Security, Inc.

Some portions licensed from IBM are available at <http://oss.software.ibm.com/icu4j/>.

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

BlowfishJ

Copyright 1997-2005 Markus Hahn

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,

WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

認証プロキシ for LDAP と連携した認証印刷の 流れ.....	4
セットアップ	5
認証プロキシ for LDAP プラグインの インストール ...	5
EpsonNet ID Print システム設定による設定 ...	10
こんなときは	13
トラブルシューティング ...	13
プリンタの操作パネルに表示されるエラー メッセージ ...	13
マクロサンプル ...	15
編集した設定内容の戻し方 ...	15
認証プロキシ for LDAP プラグインの アンインストール ...	16

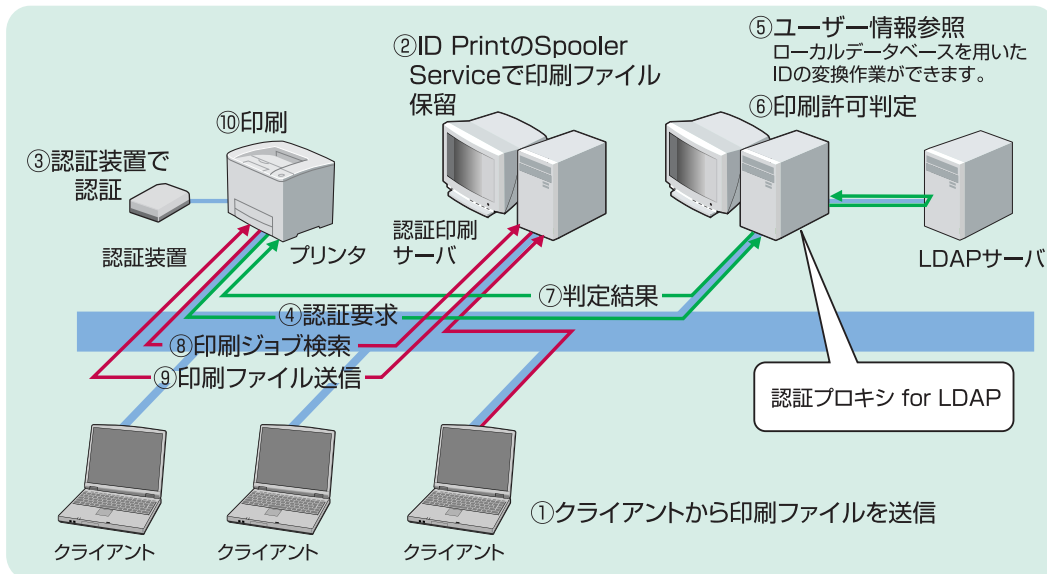
認証プロキシ for LDAP と連携した認証印刷の流れ

Offirio SynergyWare ID Print (以降「ID Print」) と Offirio SynergyWare 認証プロキシ for LDAP (以降「認証プロキシ for LDAP」) を連携して運用する場合の操作方法是、ID Print 単独のときと同じです。詳細は「Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド」を参照してください。

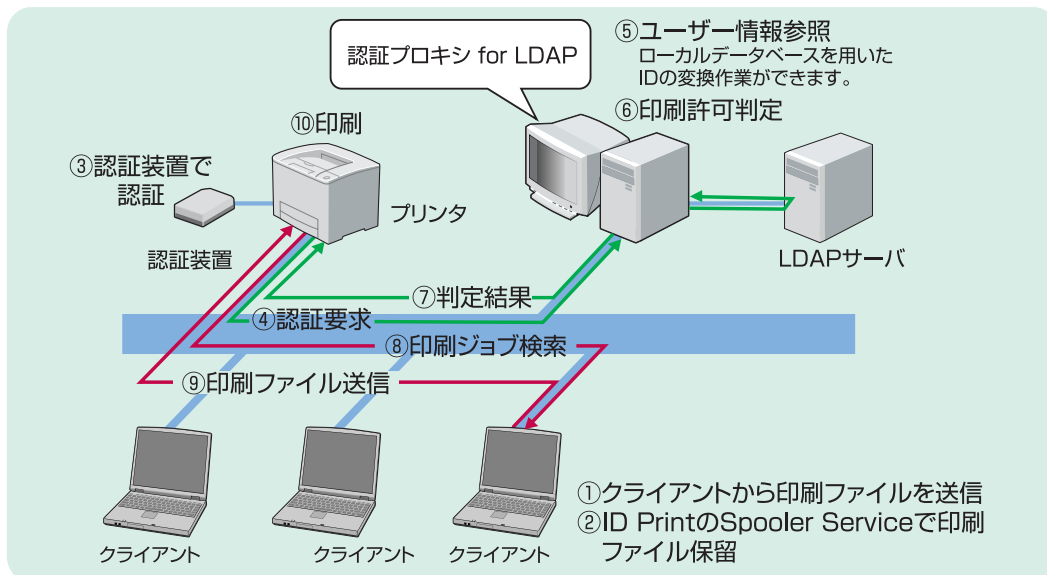
参考 プリンタの操作パネルに表示されるメッセージが増えます。
 13 ページ「プリンタの操作パネルに表示されるエラーメッセージ」

認証印刷の流れは次の通りです。

サーバ経由の場合



直接印刷の場合



標準対応プリンタ

標準で対応しているプリンタの機種情報は、「Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド」またはエプソンのホームページをご覧ください。

<http://www.epson.jp/>

セットアップ

ID Print システムに認証プロキシサービスを導入する場合は、認証プロキシのサーバ側のセットアップが完了している環境と認証プロキシ for LDAP プラグインが必要です。

ID Print のセットアップが終了してから、以下の作業を行います。

- ① 認証プロキシ for LDAP プラグインをエプソン製ネットワークインターフェイスカード (PRIFNW7S) にインストールします。
- ② EpsonNet ID Print システム設定で PRIFNW7S の設定を変更します。

認証プロキシ for LDAP プラグインのインストール

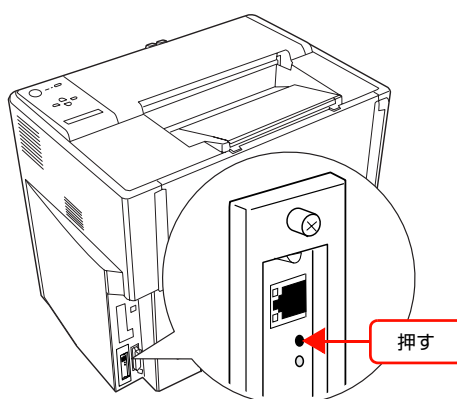
PRIFNW7S/U ソフトウェア CD-ROM に収録されている Epson Firmware Updater を使用してインストールします。Epson Firmware Updater は、下記の OS で動作します。

Windows 2000 Professional
Windows 2000 Server
Windows XP Home Edition
Windows XP Professional
Windows Server 2003
Windows Vista

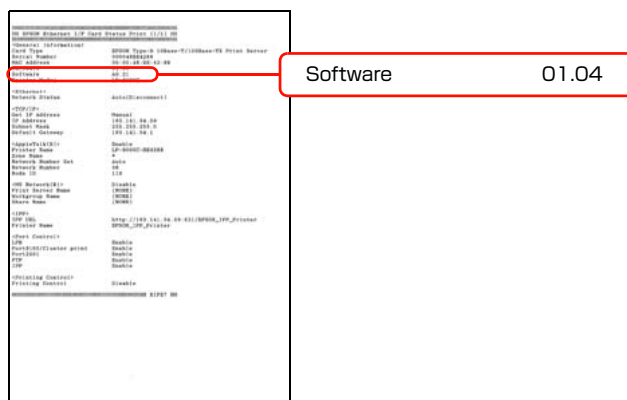
1

PRIFNW7S のステータスシートを印刷して、ファームウェアのバージョンが 01.04 以上であることを確認します。

- ① PRIFNW7S の [ステータスシート (黒色)] ボタンを押し、簡易ステータスシート (1 枚) を印刷します。



- ② 「Software」 のバージョンが 「01.04」 以上になっていることを確認します。



2 認証プロキシ for LDAP プラグインのインストールファイル(idp.prx-xx.xx.efu)をデスクトップにコピーします。

インストールファイルは、Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM (水色) の以下のフォルダに収録されています。

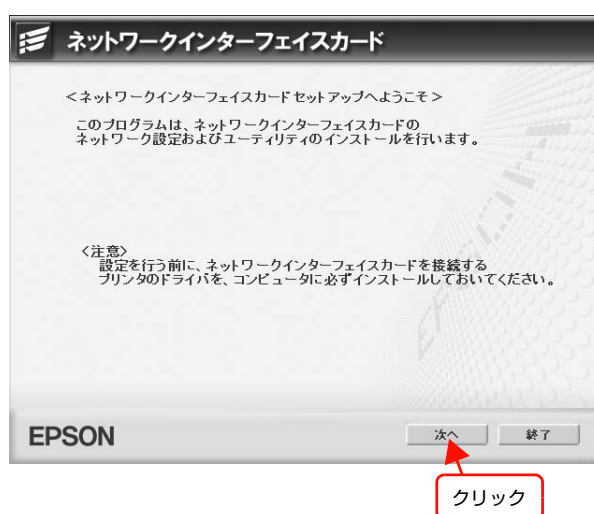
[PLUGIN] — [Auth プロキシ]

Offirio SynergyWare ID Printのインストール画面が自動起動した場合は、インストール画面を閉じてから、[CD-ROM ドライブ] アイコンを右クリックして、[開く] をクリックしてください。

3 ネットワークインターフェイスカードに同梱の EPSON PRIFNW7S/U ソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

Windows Vista : [自動再生] 画面の [プログラムのインストール/実行] で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

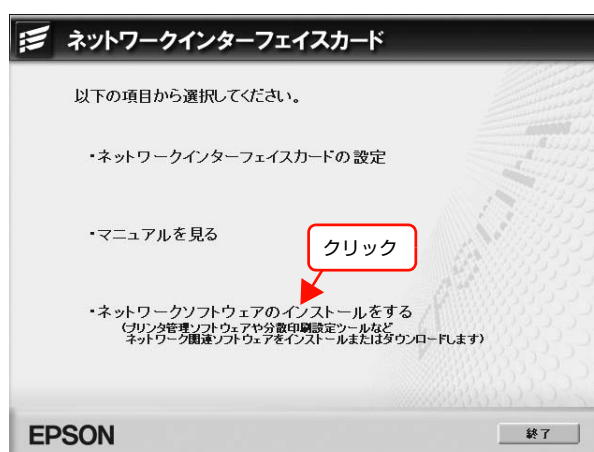
4 画面の内容を確認して、[次へ] をクリックします。



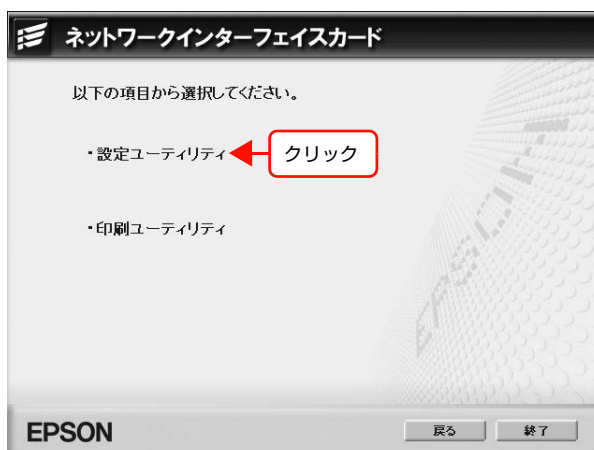
5 使用許諾契約書の画面が表示されたときは、内容を確認して [同意する] をクリックします。

Windows Vista : [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックしてから、[次へ] をクリックします。

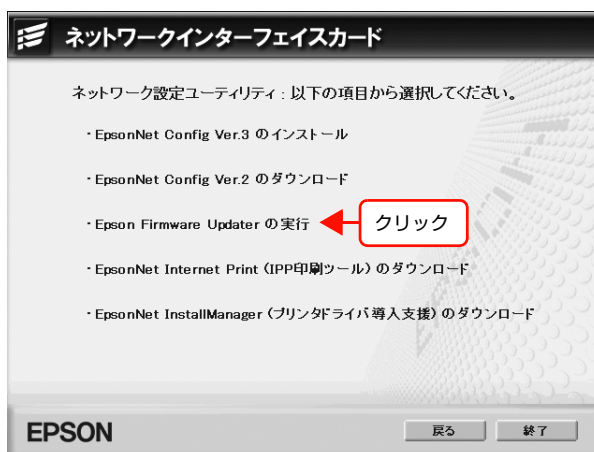
6 [ネットワークソフトウェアのインストールをする] をクリックします。



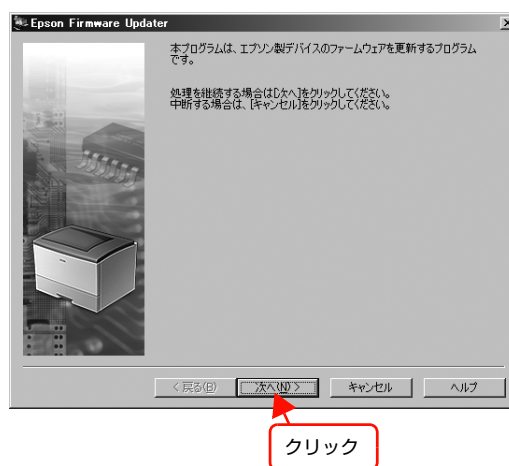
7 [設定ユーティリティ] をクリックします。



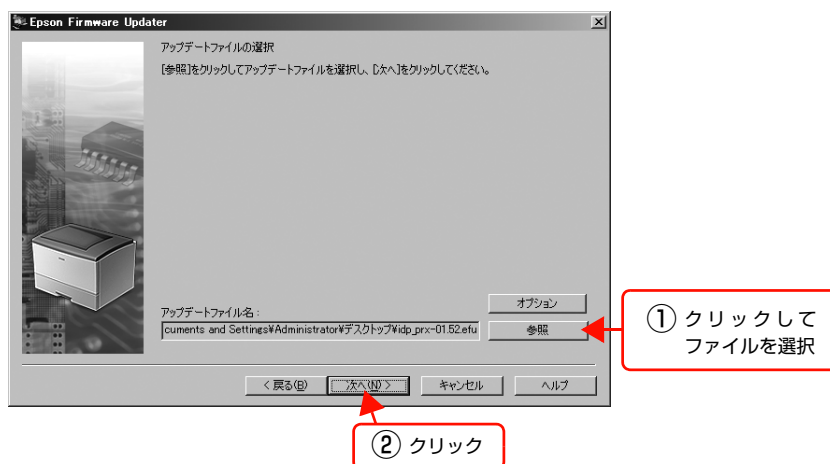
8 [Epson Firmware Updater の実行] をクリックします。



9 表示された画面の指示に従って進みます。



- 10 以下の画面が表示されたら[参照]をクリックし、「[idp_prx-xx.xx.efu]」を選択して[次へ]をクリックします。ネットワークインターフェイスカードが、コンピュータと異なるセグメントに接続されているときは、[オプション] をクリックして、[TCP/IP] の設定画面で [外部ネットワークへの探索を有効にする] をチェックしてください。



- 11 プラグインをインストールするネットワークインターフェイスカードにチェックを付けて、[開始] をクリックします。複数のネットワークインターフェイスカードを選択することもできます。IP アドレスを追加して指定するときは、[個別指定] をクリックして指定してください。

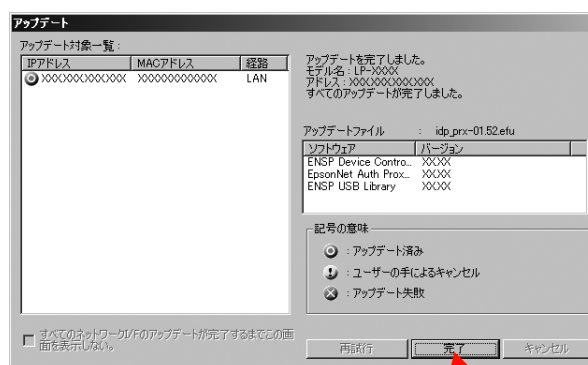


- 12 アップデート開始の確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

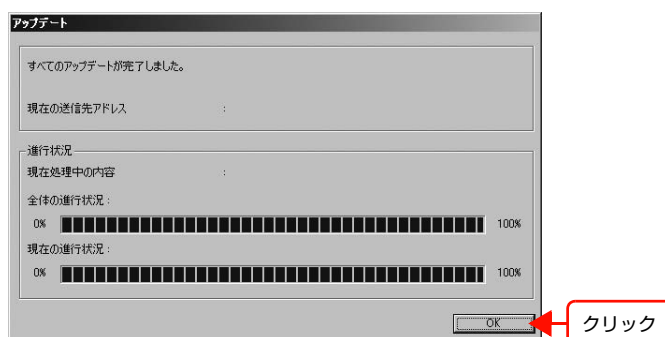


- 13 ネットワークインターフェイスカードにパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力して [OK] をクリックします。

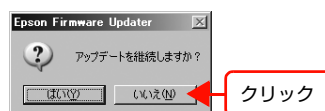
- 14 「アップデートを完了しました。」と表示されたら、[完了] をクリックします。



- 15 「すべてのアップデートが完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。



- 16 「アップデートを継続しますか？」と表示されたら、[いいえ] をクリックして終了します。



以上で終了です。

EpsonNet ID Print システム設定による設定

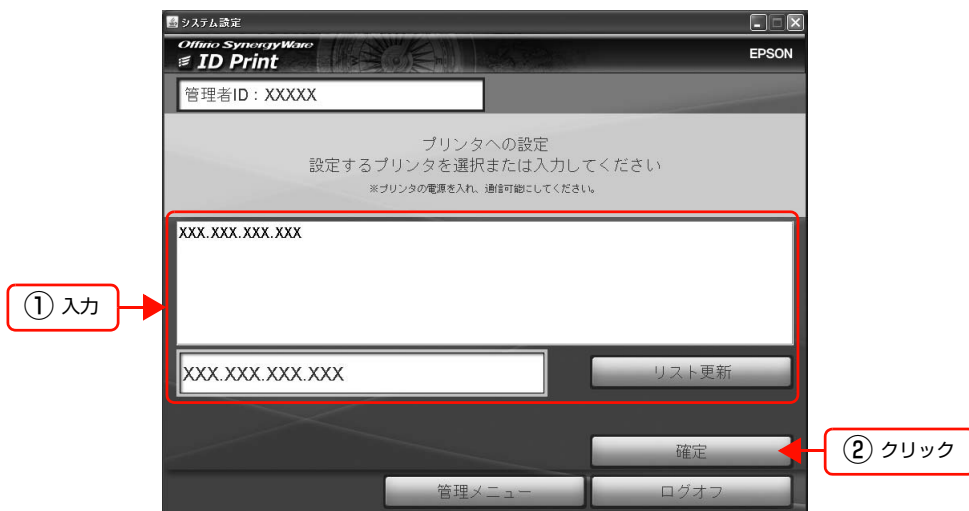
「EPSON PRIFNW7S」が認証プロキシサービスを用いて認証できるように、EpsonNet ID Print システム設定で PRIFNW7S の設定を変更します。

参考 EpsonNet ID Print システム設定は、ID Print に付属のシステム設定用のソフトウェアです。操作の仕方は、「Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド」を参照してください。

- 1 EpsonNet ID Print システム設定を起動します。
- 2 「管理メニュー」画面で「プリンタ設定」をクリックします。



- 3 設定するプリンタの IP アドレスを選択または入力して、「確定」をクリックします。

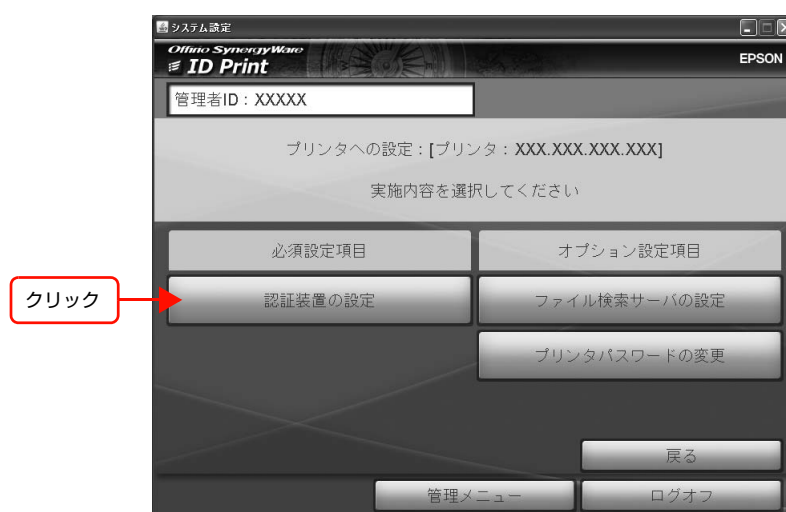


4 プリンタパスワードを入力して、[確定] をクリックします。



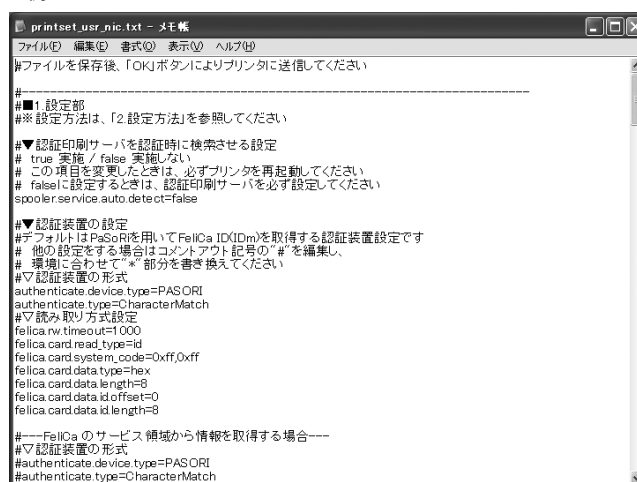
プリンタ設定画面が表示されます。

5 [認証装置の設定] をクリックします。



テキストエディタで設定ファイルが開きます。

<例>



6 設定ファイルを編集します。

- ① 認証方法の形式（必須）
 authenticate.type で始まる行に CharacterMatch など別の形式が指定されている場合は、以下のように AuthenticationProxy に書き換えます。
 authenticate.type=AuthenticationProxy
- ② 認証プロキシサービスのサーバの IP アドレス（必須）
 例：proxy.authentication.dest.addr=192.168.100.100
 複数指定する場合は、カンマで区切ります。
 例：proxy.authentication.dest.addr=192.168.100.100,192.168.100.10
- ③ デフォルトの値以外を指定したい設定（任意）
 例：proxy.authentication.dest.port=59230
 proxy.authentication.receive.port=59231
 proxy.authentication.timeout=3000

設定項目	説明	設定内容	必須 / 任意	
① authenticate.type	認証用プラグインの指定	<ul style="list-style-type: none"> • 認証プロキシサービスと連携する場合 AuthenticationProxy • 認証プロキシサービスと連携しない場合 CharacterMatch 	必須	
② proxy.authentication.dest.addr	認証プロキシサービスの IP アドレスの指定	IP アドレスのみ (FQDN 非対応) “,” 半角カンマ区切りで複数指定可	必須	
③	proxy.authentication.dest.port	認証プロキシサービスへアクセスするためのポート番号の指定	1 ~ 65535 までの整数 指定しない場合は、デフォルト 59230	任意
	proxy.authentication.receive.port	認証プロキシサービスからの応答を受信するためのポート番号の指定	1 ~ 65535 までの整数 指定しない場合は、デフォルト 59231	任意
	proxy.authentication.timeout	認証プロキシサービスへの接続タイムアウトの指定 (msec)	1 以上の整数値 指定しない場合は、デフォルト 3000	任意

7 設定ファイルを上書き保存して、テキストエディタを閉じます。

8 EpsonNet ID Print システム設定で、[OK] をクリックします。




プリンタへ設定が送信されます。
 送信した設定に誤りがある場合は、設定エラーを示す画面が表示されます。再度、設定してください。

以上で終了です。

こんなときは

トラブルシューティング

次のトラブルが発生したときは、下記の対処方法に従って操作してください。

トラブル状態	対処方法
ID Printで認証したとき、 認証結果の戻りが遅い 「authenticating...」の表示時間が長い	 ネットワークインターフェイスカード PRIFNW7S に対して、指定している認証プロキシの IP アドレスの中に無効なものが入っていないか確認してください。 PRIFNW7S で複数の認証プロキシを指定している場合、指定した順にアクセスを試みます。 先に登録されている認証プロキシの IP アドレスに無効なもの（アクセスできないもの）が含まれていると、タイムアウト処理にかかる時間が長くなるため、認証結果の戻りが遅くなります。設定を見直してください。

プリンタの操作パネルに表示されるエラーメッセージ

操作パネルのあるプリンタでは、下表のようなメッセージが表示されます。

- 一度パネルに表示されたメッセージは、別のメッセージが表示されるまで消えません。パネルに表示されたメッセージを消したいときは、プリンタを一旦オフラインにしてからオンラインに戻してください。
- 本ソフトウェアのメッセージ表示中にプリンタのメッセージが上書き表示されて、本ソフトウェアのメッセージが見えなくなることがあります。

メッセージ		状況・対処方法
authenticating...	認証中	認証プロキシサービスへ認証要求を送付しました。
auth proxy down	認証プロキシ通信エラー	認証プロキシサービスと通信できませんでした。 プリンタ側の ID Print にアドオンされた認証プロキシ for LDAP プラグインが、認証プロキシサービスにアクセスできない状態です。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 認証プロキシ for LDAP プラグインのアクセス先として指定されている認証プロキシサービスの IP アドレスは適切ですか？ 【確認方法】 EpsonNet ID Print システム設定の [プリンタ設定] - [認証装置の設定] の「proxy.authentication.dest.addr」の右辺を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 認証プロキシ for LDAP プラグインのアクセス先として指定されている認証プロキシサービスのポート番号は適切ですか？ 【確認方法】 以下の①と②が一致していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ①認証プロキシ管理の [カスタム設定] の「proxy.receiving.port」の右辺のポート番号 ②EpsonNet ID Print システム設定の [プリンタ設定] - [認証装置の設定] の「閲覧可能なポート番号、proxy.authentication.dest.port」の右辺（指定がない場合は、デフォルトの 59230） <ul style="list-style-type: none"> 認証プロキシ for LDAP プラグインのアクセス先として指定されている認証プロキシサービスは開始されていますか？ 【確認方法】 [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [管理ツール] - [サービス] の順にクリックして、EpsonNet Authentication Proxy Service が「開始」になっているか確認します。

メッセージ		状況・対処方法
(続き)	(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • 認証プロキシサービス搭載サーバ、プリンタ側ネットワークインタフェースが、ネットワークに通信可能な状態で接続されていますか？ • 認証プロキシサービス搭載サーバで Windows ファイアウォールが有効になっていますか？ 有効になっている場合は無効にするか、または以下の設定を行ってください。 以下は Windows Server 2003 の場合です。 <p>①[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。</p> <p>②[例外] タブをクリックして [ポートの追加] をクリックします。</p> <p>③以下の名前 (任意)、ポート番号を入力し、[TCP] を選択して [OK] をクリックします。</p> <p>名前: 認証プロキシ (TCP) (←任意の名称) ポート番号: 59230</p> <p>④再度、[ポートの追加] をクリックします。</p> <p>⑤以下の名前 (任意)、ポート番号を入力し、[UDP] を選択して [OK] をクリックします。</p> <p>名前: 認証プロキシ (UDP) (←任意の名称) ポート番号: 59230</p> <p>⑥「プログラムおよびサービス」の③、⑤で指定した 2 つの名前をチェックします。</p> <p>⑦[OK] をクリックします。</p>
auth proxy error	認証プロキシ処理エラー	<p>認証プロキシサービスでの認証処理中にエラーが発生したと認証結果を受けました。</p> <p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証プロキシ管理を起動して、認証プロキシサービスの稼働ログおよびサービスステータスを確認します。 • 上記エラー内容を元に関連する設定や機器設置状態を確認します。 主に、マクロ文、LDAP サーバへのアクセス設定、ネットワークへの接続状態を確認してください。 • ライセンス重複が検出された場合は、複数の認証プロキシサービスが同一ライセンスキーでインストールされています。 ライセンスが重複しないよう、アンインストールしてください。
ID error	認証失敗	<p>認証プロキシサービスでの認証処理の結果、認証印刷を実行する権限のないことが確認されました。</p> <p>認証印刷は行われません。</p>
ID ok	認証されました	<p>認証プロキシサービスでの認証処理の結果、認証印刷を実行する権限のあることが確認されました。</p> <p>続けて、認証印刷が行われます。</p>
ID Print Ready	ID Print 準備完了	ID Print の準備が完了しました。

マクロサンプル

```
$FIND_DN="CN={},OU=Accounts";  
$FIND_DN=replace( $FIND_DN , $USER_ID );  
$PROXY_AUTH_RESULT= epon.proxy.module.ldap.LdapModule:contains( $FIND_DN, "" );
```

\$USER_ID について

\$USER_ID の内容を元に認証処理を行うよう、マクロ文を記述してください。

認証プロキシ for LDAP プラグインは、認証プロキシに対し認証要求を送信する際、変数 \$USER_ID に認証対象者の識別子（ユーザーID、カードIDなど）を入れます。この識別子は、認証装置に対して認証操作が行われるときに、ID Print が読み取る文字列です。この識別子の内容は、使用する認証装置や認証装置の設定、および認証操作を行ったときの認証媒体（カードなど）で決まります。

\$USER_ID の変換処理について

認証処理の結果として \$USER_ID に別の文字列（ユーザー名など）を代入して、ID Print へ返すこともできます。これにより、例えば認証要求時に受け取ったカード識別子を元に、ユーザー識別子に変換して認証結果として返すことができます。

例

認証要求時 \$USER_ID=a00012

認証処理後 \$USR_ID="xxx_user",\$PROXY_AUTH_RESULT="TRUE"

ID Print は、認証結果内の \$USR_ID に割り当てられた xxx_user の印刷ジョブを検索して認証印刷を行います。

編集した設定内容の戻し方

認証プロキシ for LDAP と連携しない設定に戻すには、編集した EpsonNet ID Print システム設定の設定内容を編集前の記述に戻します。

その後、認証プロキシ for LDAP プラグインをアンインストールしてください。

[📖 本書 16 ページ「認証プロキシ for LDAP プラグインのアンインストール」](#)

- 1 「EpsonNet ID Print システム設定の設定」の手順 1 から 5 を行い、設定ファイルを開きます。**
[📖 本書 10 ページ「EpsonNet ID Print システム設定による設定」](#)
- 2 設定ファイルを編集します。「EpsonNet ID Print システム設定の設定」の手順 6 で編集した内容を元の記述に戻します。**
 - ① 認証方法の形式（必須）
戻したい認証方法に書き換えます。
 - ② 認証プロキシサービスの IP アドレス（任意）
IP アドレスを残しておきたくない場合は削除してください。
 - ③ デフォルトの値以外を指定した設定（任意）
その値を残しておきたくない場合は削除してください。
- 3 設定ファイルを上書き保存して、テキストエディタを閉じます。**
- 4 EpsonNet ID Print システム設定で、[OK] をクリックします。**
プリンタへ設定が送信されます。
送信した設定に誤りがある場合は、設定エラーを示す画面が表示されます。再度、設定してください。

以上で終了です。

認証プロキシ for LDAP プラグインのアンインストール

PRIFNW7S/U ソフトウェア CD-ROM に収録されている Epson Firmware Updater を使用して、インストールと同様の手順でアンインストールします。

参考 認証プロキシ for LDAP プラグインをアンインストールする前に、編集した EpsonNet ID Print システム設定の設定内容を編集前の記述に戻してください。
☞ 本書 15 ページ「編集した設定内容の戻し方」

1 認証プロキシ for LDAP プラグインのアンインストールファイル (idp.prx-UNINSTALL.efu) をデスクトップにコピーします。

アンインストールファイルは、Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM (水色) の以下のフォルダに収録されています。

[PLUGIN] — [Auth プロキシ]

Offirio SynergyWare ID Print のインストール画面が自動起動した場合は、インストール画面を閉じてから、[CD-ROM ドライブ] アイコンを右クリックして、[開く] をクリックしてください。

2 インストールと同じ手順で、1 のアンインストールファイルを送信します。

インストール手順の 3 以降を参照してください。

☞ 本書 5 ページ「認証プロキシ for LDAP プラグインのインストール」

以上で終了です。